

2014 年度受講案内

第 6 回伴走型支援士 2 級認定講座

伴走型支援士 2 級認定講座の開催をご案内します。

ホームレス支援全国ネットワークでは、2011 年度より、困窮者支援に携わる方への人材育成プログラムとして『伴走型支援士認定講座』を開始しました。これまでに全国 5 か所で実施した認定講座では、ホームレス支援団体職員・ボランティア、福祉施設職員、社会福祉協議会職員、自治体職員など、様々な分野からの参加が見られ、2013 年度で 339 名の方々が「伴走型支援士」資格を取得されました。

困窮者の状況が大きく変化している現在、支援に携わる人材の育成は大きな課題と考えます。厚生労働省平成 22 年度社会福祉推進事業として実施した「広義ホームレスの可視化と支援策に関する調査」において、脱ホームレスを果たした年間 4 万人の方のうち、路上経験者は約半数という調査結果が出ています。そういった意味では困窮状況は見えにくくなり、地域に広がっています。困窮者の若年化や貧困の世代間連鎖など、様々な課題が見えています。

2015 年度、「生活困窮者自立支援法」に基づく自立相談支援事業が全国ではじまります。すでに各地においてモデル事業も実施されています。相談窓口が全国に設置されるとともに、就労準備支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業など、具体的な支援の仕組みも整備されます。このことは、日本の困窮者支援において、大きな前進と言えます。

しかし、この制度をより有効に機能させるためには、地域において支援を行っている社会資源とどれだけ連携できるか、民間レベルにおける人材をいかに充実させるかが重要と考えます。国の制度および人材育成システムが整備されるだけでなく、民間を含めた社会全体で困窮者を受け入れる体制づくりを目指さなければなりません。地域には、これまで困窮者を支えてきた民間団体・事業所が多く存在します。今後、新しい施策の中で、このような現場の方々の力が否応なく必要となってきます。私たちは、この現場の皆様の人材育成の一助となれるように「伴走型支援士育成講座」を体系的に進めてきました。国の設置する新しい困窮者支援の人材育成の仕組みと既存の社会資源による人材育成の仕組みが連携して支援にあたることによって、大きな成果が得られるものと考えています。

これまでの困窮者支援の現場で培ってきた経験、3 年間の講座開催の実績をもとに、2014 年度も困窮者支援の一助となるよう、伴走型支援士認定講座を開講します。みなさまの参加をお待ちしております。

NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク
理事長 奥田知志

開催概要

◆ 日 時

2014年9月26日（金）13時00分

～ 28日（日）14時30分

★フィールドワーク（オプション）：14時45分～16時15分

※3日間の連続講座です。原則、全課程を受講できる方に限ります

◆ 場 所

北海道札幌市

◆ 札幌市はちけん地区センター ホール

住所：札幌市西区八軒6条西2丁目2番1号

電話：011-611-0966

◆ 開講講座

2級認定講座（ボランティア初心者向け）

◆ 定 員

70名

※ 定員になり次第、申し込みをお断りする事があります。お早めにお申し込み下さい。

◆ 費用

受講料 10,000 円

※原則、返還はありません。

○ 別途必要となる費用

● 交通費・宿泊費

※ 各自で手配をお願いいたします。

● 交流会費：3,500 円

※ 参加・不参加の旨を申込書にご記入ください。

● 食事代

※ 2 日目・3 日目はお弁当を 500 円で用意いたします。ご希望の方は申込書にご記入ください。

★ 詳細は、受講決定通知にてお知らせします。

◆ 申込受付期間

2014 年 8 月 18 日（月）～ 9 月 5 日（金）

◆ 受講資格

伴走型支援士を志す方はどなたでも受講できます。

◆ 資格認定者

資格認定は、特定非営利活動法人ホームレス支援全国ネットワーク内に設置する伴走型支援士資格認定委員会委員長が行うものとします。

◆ 資格の有効期限

5 年間

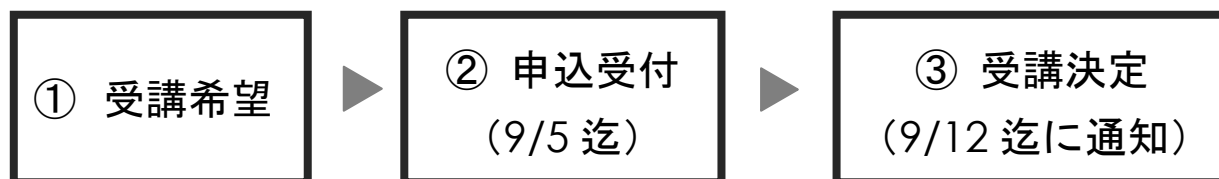
※ 有効期限内に更新講座の受講をしない場合、資格失効となります。

◆ 受講者の決定と結果通知

2014年9月12日（金）までに郵送

※ 申込書記載の住所宛に郵送します。9月12日（金）を過ぎても通知書が届かない場合はご連絡ください。

◆ 受講の手続き



- ①② 受講を希望される方は **2014年9月5日（金）** までに、別紙「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、証明写真を2枚同封し（内1枚は申込書に添付）、郵送にて下記の申込先までお送り下さい。
- ※電話・ファックス・メールでの受講申し込みはできませんのでご注意ください。
- ③ 受講申込書の受付後、2014年9月12日（金）までに結果を申込書記載の住所宛に郵送にて通知します。（受講決定通知書の郵送）

◆ 申込書類送付先およびお問い合わせ先

特定非営利活動法人ホームレス支援全国ネットワーク事務局

〒 805-0015 福岡県北九州市八幡東区荒生田 2-1-32

tel/fax: 093-651-7557

e-mail: postmaster@homeless-net.org

第6回伴走型支援士2級認定講座 スケジュール

9月26日（金） 会場：はちけん地区センター

| | | |
|-------------|-----------------------|----------------------------------|
| 12:30-13:00 | 受付 | |
| 13:00-13:30 | 実行委員長挨拶/オリエンテーション | 中山 徹（大阪府立大学地域連携研究機構地域福祉研究センター教授） |
| 13:30-15:00 | 今日の生活困窮者問題と伴走型支援 | 奥田 知志（NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長） |
| 15:15-16:45 | 生活困窮者と支援システム | 稲月 正（北九州市立大学基盤教育センター教授） |
| 17:00-18:00 | サポートプラン方式による生活困窮者支援 I | 森松 長生（NPO 法人 抱樸 常務理事） |
| 19:00-21:00 | 交流・懇親会 | |

9月27日（土） 会場：はちけん地区センター

| | | |
|-------------|------------------------|--|
| 9:00-10:00 | 生活困窮者支援と社会保障 I | 中山 徹（大阪府立大学地域連携研究機構地域福祉研究センター教授） |
| 10:15-11:15 | 生活困窮者支援と社会福祉－障がい者福祉 I | 奥村 健（社会福祉法人みおつくし福祉会理事長） |
| 11:30-12:30 | 生活困窮者に対するアフターサポート I | 鈴木 しもん（NPO 法人抱樸・福岡県地域生活定着支援センター センター長） |
| 12:30-13:15 | 昼食 | |
| 13:15-14:15 | 生活困窮者支援と更生保護 I | 伊豆丸 剛史（長崎県地域生活定着支援センター 所長） |
| 14:30-15:30 | 生活困窮者に対する家計再建支援 I | 行岡 みち子（生活協同組合連合会グリーンコープ連合 常務理事） |
| 15:45-16:45 | 生活困窮状態にある子ども・女性・家族支援 I | 野依 智子（福岡女子大学女性研究者支援室副室長・教授） |
| 17:00-17:45 | 各地の活動報告 | |
| 18:00-19:00 | 生活困窮者に対すると居住支援 I | 平川 隆啓（有限会社地域・研究アシスト事務所/甲南大学非常勤講師） |

9月28日（日） 会場：はちけん地区センター

| | | |
|-------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 9:00-10:00 | 生活困窮者に対する就労支援Ⅰ | 加美 嘉史（佛教大学社会福祉学部社会福祉学科准教授） |
| 10:15-11:45 | サポートプラン方式による生活困窮者支援Ⅱ（サポートプラン作成実習） | 森松 長生（NPO法人抱樸 常務理事） |
| 11:45-12:30 | 休憩・昼食 | |
| 12:30-12:45 | 認定試験会場の準備 | |
| 12:45-12:55 | 認定試験の説明（10分） | |
| 12:55-14:15 | 認定試験（80分） | |
| 14:15-14:30 | 閉会挨拶 | 副田 一郎（NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事） |
| 14:45-16:15 | フィールドワーク（オプション） | 現地団体の事業紹介、見学（予定） |

※内容は一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

| 講義と主な内容 | 形式 |
|--|----|
| <p>◇ 今日の生活困窮者問題と伴走型支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者とは誰か ● 生活困窮者支援とは何か ● 生活困窮者支援には何が必要か ● おわりにー支援の方向性 | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮者支援と支援システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伴走型支援のながれ ● 社会保障制度の体系と内容 ● 個人に対する伴走型支援 ● 地域に対する働きかけ | 講義 |
| <p>◇ サポートプラン方式による生活困窮者支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サポートプラン作成の意義、目的 ● サポートプランの活用法 | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮者支援と社会保障 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会保障制度の全体像と生活困窮者支援 ● 社会保険と生活困窮者支援 ● 生活保護と生活困窮者支援 ● 「第二のセーフティネット」ー重層的セーフティネットの構築 | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮者支援と社会福祉ー障がい者福祉 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援における障がい者の実態 ● 障がいの特性 ● 各依存症の特性 ● 障がい者福祉の制度 ● 障がい者の制度から漏れがちな人々に対する支援と課題 | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮者に対するアフターサポート I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援におけるアフターサポートの目的と意義 ● アフターサポート段階におけるケアマネジメント ● ケアマネジメントの要素 ● ケアマネジメントにおける視点 ● ケアマネジメントの過程 | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮者支援と更生保護 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 更生保護制度理解の意義、目的 ● 更生保護事業の制度理解 ● 更生保護事業の展開と課題 | 講義 |

| | |
|---|----|
| <p>◇ 生活困窮者に対する家計再建支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家計再建支援の目的、意義 ● 家計から見える困窮世帯の状況 ● 家計再建支援の基礎知識 | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮状態にある子ども・女性・家族支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最近の生活困窮者の現状—子ども、女性、家族、 ● 子ども、女性、家族支援と特徴 ● 学習支援等の様々な支援の意義と概要 ● 子どもの貧困対策法について | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮者に対すると居住支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者と居住支援の位置付け ● 居住の不安定性と多様性 ● 居住の現状 ● 多彩な居住支援 | 講義 |
| <p>◇ 生活困窮者に対する就労支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援における就労支援の位置付けと意義 ● 自立支援センターなど法に基づく施策による就労支援 ● 多様な就労と自立支援 ● 中間労働市場の構築と制度的実践的課題 | 講義 |
| <p>◇ サポートプラン方式による生活困窮者支援Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サポートプラン作成の実際 | 演習 |
| <p>◇ 認定試験</p> | 試験 |
| <p>◇ フィールドワーク 詳細調整中</p> | 視察 |

※ 講義内容は変更されることがあります。予め、ご容赦ください。

